

平成 26 年度 事業報告

一般社団法人
日本肝臓学会

平成 26 年度 事業報告

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款(以下「定款」という。)第 4 条第 1 項の規定に基づいて、以下のとおり学術集会を開催し、学術誌・学術図書を発行した。また、研究の奨励・研究業績の表彰等を行なった。

(1) 学術集会の開催

日本糖尿病学会と連携して『第 1 回肝臓と糖尿病・代謝研究会』を開催した。

名称	期間・会場	会 長
第 50 回総会 参加者：3,679 名	平成 26 年 5 月 29 日(木)～5 月 30 日(金) 東京都：ホテルニューオータニ	泉 並木 武蔵野赤十字病院 消化器科
第 1 回 肝臓と糖尿病・代 謝研究会 参加者：486 名	平成 26 年 7 月 4 日(金) 東京都：伊藤国際学術センター	小池 和彦 東京大学医学系研究科 消化器内科学
第 18 回大会 (JDDW2014) 参加者：20,352 名	平成 26 年 10 月 23 日(木)～10 月 24 日(金) 神戸市：神戸国際展示場・ポートピアホテル 他	福井 博 奈良県立医科大学 消化器・内分泌代謝内科
第 11 回 Single Topic Conference 参加者：286 名	テーマ：B 型肝炎 平成 26 年 11 月 20 日(木)・21 日(金) 広島市：ホテルグランヴィア広島	茶山 一彰 広島大学医歯薬学保健学研 究院 消化器・代謝内科
第 40 回東部会 参加者：1,708 名	平成 26 年 11 月 27 日(木)～11 月 28 日(金) 東京都：京王プラザホテル	渡辺 純夫 順天堂大学医学部 消化器 内科

※ 学術集会・教育講演会等会長等の選考

- 第 54 回総会会長 西口修平
- 第 3 回肝臓と糖尿病・代謝研究会会長 金子周一
- 平成 28 年度教育講演会 単独開催会長 竹原徹郎
- 2016 12th JSH Single Topic Conference 「肝細胞癌」会長 金子周一

※ 海外の学術団体とのジョイントセッションについて審議し、以下のとおり承認した。

- EASL-JSH Joint session
- KASL-JSH Joint Symposium

(2) 学術誌・学術図書の発行

- ① 和文誌『肝臓』 第 55 巻 4 号～12 号, 56 巻 1 号～3 号までの 12 号及び第 50 回総会, 第 18 回大会, 第 40 回東部会の抄録を刊行した。
- ② 欧文誌『Hepatology Research』 Vol44, No4～12, Vol45, No1～3 の 12 号を刊行した。論文掲載の遅れを考慮し、執筆者に確認の上, Vol.44 No10 をオンライン出版した。
- ③ その他
 - 日本肝臓学会 NASH 診断 WG では, 3 回の会議を実施し, 『NASH ガイドライン』の作成に向けて作業を進めた。

- 『肝がん白書』は、転載許諾手続きの関係で出版が遅れた。
- 一般市民向け、医療従者向けの『パンフレット改訂版』の作成作業を進めている。
- 『肝癌診療ガイドライン(2013版)』の邦文を11月18日にホームページに掲載し、英訳は、平成27年1月23日にホームページに掲載した。
- 肝炎治療ガイドラインは、以下の改訂を行いホームページに掲載した。
 - 平成26年 6月 B型肝炎治療ガイドライン第2版
 - 平成26年 9月 C型肝炎治療ガイドライン第3版
 - 平成26年10月 C型肝炎治療ガイドライン 第3.1版
 - 平成26年12月 第C型肝炎治療ガイドライン 3.2版
 また、B型・C型肝炎治療ガイドラインの mobile 用アプリを公開した。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

- ① 平成26年度の「織田賞(学会賞)」は、大阪府済生会吹田病院の岡上 武 氏に授与し、5月30日に受賞講演が行われた。
- ② 平成26年度の「研究奨励賞」は、以下の7名に授与した。
 - 池上 徹 (九州大学消化器・総合外科)
 - 上田 佳秀 (京都大学 消化器内科)
 - 佐々木一成 (虎の門病院 消化器外科)
 - 竹田 治彦 (大阪赤十字病院 消化器内科)
 - 野口 隆一 (奈良県立医科大学 第三内科学)
 - 平岡 淳 (愛媛県立中央病院 消化器病センター)
 - 牧野 祐紀 (大阪大学医学系研究科 消化器内科学)
- ③ 平成26年度の日本肝臓学会機関誌 High Citation 賞は、以下の5名に授与した。
 - 肝 臓
 - 姜 貞憲 (手稲溪仁会病院)
 - Hepatology Research Review article (含 Special Report) 2篇
 - 熊田 博光 (虎の門病院)
 - 猪飼伊和夫 (京都医療センター)
 - Hepatology Research Original article (含 Short Communication, Case Report) 2篇
 - 米田 正人 (横浜市立大学医学部附属病院)
 - 坂本 直哉 (北海道大学)
- ④ 中堅研究者の研究奨励のため、次の冠 Award を授与し、奨励金を交付した。
 - 第16回 AJINOMOTO Award
 - 最優秀研究賞 工藤 篤 (東京医科歯科大学 肝胆膵・総合外科学分野)
 - 優秀研究賞 澤田 康司 (旭川医科大学 内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
 - 田中 賢 (東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科)
 - 第13回 OTSUKA Award
 - 優秀研究賞 播本 憲史 (九州大学大学院 消化器・総合外科)

○ 第13回 MSD Award

- 優秀賞 大鶴 繁 (京都大学医学部附属病院 消化器内科 初期診療・救急科)
 馬渡 誠一 (鹿児島大学医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学)
 森川 賢一 (昭和大学医学部 内科学講座 消化器内科学部門)
 渡辺 崇夫 (愛媛大学医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学)

○ 第7回 CHUGAI Award

- 優秀研究賞 神吉 けい太 (鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学部門)

○ 第5回 Bristol-Myers Award

- 優秀研究賞 阿部 弘美 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)
 川口 司 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)
 楮 柏松 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

⑤ 国際学術集会の準備等への参加者に対する旅費等を12名に助成した。

- EASL : 1名 長谷川泰浩 (大阪大学医学系研究科小児科)
 AGA : 1名 金田 遼 (秋田大学医学部附属病院 第一内科)
 ILTS : 1名 田中 智大 (東京大学医学部附属病院 臓器移植医療部)
 AASLD : 8名 勝見 智 (大山形大学院医学部消化器内科)
 北畑富貴子 (東京医科歯科大学 消化器内科)
 田中 聡司 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科)
 鈴木 祥子 (武蔵野赤十字病院消化器内科)
 中嶋 駿介 (旭川医科大学 内科学講座)
 鶴谷 康太 (東海大学医学部 消化器内科)
 森 雅史 (富士宮市立病院 内科)
 黒田 太良 (愛媛大学医学部 消化器・内分泌・代謝内科学)
 APASL : 1名 常松 聖司 (北海道大学院病院 消化器内科)

⑥ 外国人研修生の学術集会参加のための旅費を1名に助成した。

- 第18回大会 姜 霞 (中国・千葉大学医学研究院 腫瘍内科学)

2. 定款第4条第2項の規定に基づいて教育講演会を開催し、肝臓専門医試験を実施した。

(1) 教育講演会

一般社団法人日本肝臓学会教育講演会に関する内規に基づいて教育講演会を開催した。

名称	期日・会場	会長
前期教育講演会 参加者：674名	平成26年5月30日(金) 東京都：ホテルニューオータニ	泉 並木 武蔵野赤十字病院消化器科
単独開催教育講演会 参加者：616名	平成26年8月10日(日) 大阪市：グランキューブ大阪	横須賀 收 千葉大学医学研究院 消化器・腎臓内科
後期教育講演会 参加者：642名	平成26年11月28日(金) 東京都：京王プラザホテル	渡辺 純夫 順天堂大学医学部消化器内科

単独開催教育講演会は、台風 11 号の影響により開催が危ぶまれたが、講師・司会とも万全の体制で臨んだ。事前登録者にも開催を再通知、前日入阪を勧めたが、事前登録者 774 名のうち 157 名(約 20%)が欠席した。

欠席者については、やむを得ない事情を勘案し、理事長、総務・財務理事、生涯教育委員会委員長の合意に基づき、申し出があった会員に登録料(5000 円/件)を返還することとした。

8 月 31 日に締切り 88 名に返金した。返却額 440,000 円、振込手数料 46,116 円、計 486,116 円

また、欠席者のうち今年度肝臓専門医の受験を計画している会員に対しては、生涯教育委員会委員長と肝臓専門医制度審議会委員長の判断で第 40 回東部会開催時の後期教育講演会への事前登録と受講を条件にして受験を承認することとした。

(2) 肝臓専門医

- ① 肝臓専門医試験 平成 26 年 11 月 15 日(土) 砂防会館(シェーンバッハ・サボウ)
受験者 448 名(受験申請者 458 名、欠席者 10 名)、合格者 350 名(正解率 60.3%)
- ② 平成 27 年 4 月の肝臓専門医更新 平成 26 年 12 月 9 日締切 更新者 907 名
- ③ 平成 27 年 4 月の施設認定、関連施設、指導医の委嘱 平成 26 年 9 月 30 日締切、
施設認定 33 施設、関連施設 11 施設、指導医申請 68 名、指導医責任者 19 名に委嘱

(3) 専門医制度

平成 26 年 5 月 7 日、一般社団法人日本専門医機構が発足し、新たな専門医認定制度について検討されており、これに対応するため肝臓専門医研修プログラム作成 WG を設置し、新カリキュラム・プログラムについて検討した。

3. 定款第 4 条第 4 項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開している。

(1) 一般社会人の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、平成 26 年 8 月 3 日(日) 全国 5 ヶ所で市民公開講座を開催した。参加者数は、705 人であった。

- 東北地区 責任者 下瀬川 徹(東北大学医学部消化器内科)
会 場：仙台市急患センター仙台医師会館 2 F ホール 参加者数 90人
テーマ：肝臓病を知ろう
- 関東地区 責任者 高山 忠利(日本大学医学部消化器外科)
会 場：ステーションコンファレンス池袋 参加者数 219人
テーマ：肝臓は防げる・治せる
- 中部地区 責任者 金子 周一(金沢大学医薬保健学総合研究科恒常性制御学消化器内科)
会 場：北國新聞会館20階ホール 参加者数 186人
テーマ：最新のウイルス肝炎治療
- 中国地区 責任者 村脇 義和(鳥取大学医学部機能病態内科学)
会 場：ハワイアロハホール 大ホール(鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい) 参加者数 56人
テーマ：肝がんで死なないために
- 九州地区 責任者 中尾 一彦(長崎大学医歯薬学総合研究科 消化器内科学)
会 場：長崎ブリックホール 参加者数 154人
テーマ：最新の治療法で肝臓病を治そう

- (2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦した。
 甲信越地区 榎本 信幸 (山梨大学医学工学総合研究部第一内科)
 開催日：平成 27 年 11 月 1 日(土)，会 場 山梨県立文学館
 テーマ：肝炎・肝がんの最新治療
- (3) 平成 26 年 8 月 2 日のウイルス肝炎研究財団主催パネルディスカッションを共催した。
 開催日 平成 26 年 8 月 2 日(土)，会場：高知市文化プラザかるぽーと
- (4) 肝がん撲滅運動
 各都道府県 50 箇所で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催した。
- (5) 肝臓学会 HP 市民向けゾーンに「肝臓の病気」欄を設置し、「B 型肝炎」の啓発内容を掲載した。

4. 定款第 20 条の規定に基づいて役員を選任した。

平成 26 年 5 月 29 日の評議員会において選挙を実施，理事及び監事候補者を選考し，30 日の定時総会において選出した。また，同 30 日の臨時理事会で理事長を選出，6 月 17 日の第 2 回臨時理事会で理事の役割分担，各種委員会委員を選出し新体制を整備した。

理 事 長 : 小池 和彦
 副理事長 : 金子 周一
 総務理事 : 金子 周一
 財務理事 : 滝川 一
 理 事 : 泉 並木, 榎本 信幸, 鹿毛 政義, 工藤 正俊, 佐々木 裕,
 高山 忠利, 竹原 徹郎, 田中 榮司, 茶山 一彰, 西口 修平,
 橋本 悦子, 持田 智, 横須賀 収
 監 事 : 佐田 通夫, 吉岡健太郎
 幹 事 : 上野 義之, 河田 則文

5. 定款第 36 条の規定に基づいて定款を改正した。

平成 26 年 5 月 30 日の定時総会において定款の改正案を承認，意思決定の合理的運用を図ることを目的として代議員制度を導入した。

この結果，現行の評議員を代議員として位置づけることとなった。なお，ホームページに評議員(代議員)名簿を掲載した。

6. 創立 50 周年記念事業

- 創立 50 周年記念基金を設けた。
- 平成 26 年 5 月 28 日(水) ホテルニューオータニ，芙蓉の間において秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと第 50 回日本肝臓学会総会記念式典を執り行った。
- 創立 50 周年記念誌『日本肝臓学会 50 年のあゆみ』を発行，協賛者及び関係者に送付した。
- 収支状況 寄付金 55,712,545 円 (利息 2,545 円を含む)
- 式典関係 24,043,823 円
- 記念誌発刊 3,639,769 円 (支出計 27,683,592 円)
- 残 高 28,028,953 円 端数処理して創立 50 周年記念基金へ

7. 以下の会議を開催した。

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、評議員会、定時総会を開催するとともに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議した。

(1) 理事会

第1回定例理事会	平成26年5月28日(水)	東京
第1回臨時理事会	平成26年5月30日(金)	東京
第2回臨時理事会	平成26年6月17日(火)	東京
・演題選定委員会委員開票(滝川・持田)	平成26年6月24日(火)	東京
・評議員選出委員会開票(泉, 橋本)	平成26年7月24日(木)	東京
第3回臨時理事会	平成26年7月22日(火)	持回審議
第2回定例理事会	平成26年10月22日(水)	神戸
第4回臨時理事会	平成27年1月5日(月)	持回審議
第3回定例理事会	平成27年3月27日(金)	東京

(2) 評議員会

平成26年5月29日(木) 東京

(3) 定時総会

平成26年5月30日(金) 東京

(4) 各種委員会 (『一般社団法人日本肝臓学会委員会規程』の順序による。)

・財務委員会(第1回)	平成26年5月13日(火)	東京
同 (第2回)	平成27年2月19日(木)	東京
・企画広報委員会(第1回)	平成26年8月5日(火)	東京
同 (第2回)	平成26年12月8日(月)	持回審議
・倫理委員会(第1回)	平成26年9月12日(金)	東京
同 (第2回)	平成27年1月26日(月)	持回審議
・学術集会審議委員会	平成26年10月2日(木)	東京
・国際委員会(第1回)	平成26年11月28日(金)	東京
同 (第2回)	平成27年1月26日(月)	持回審議
・演題選定委員会(第1回)	平成26年6月30日(月)	東京
同 (第40回東部会)	平成26年8月29日(金)	東京
同 (第2回・51総会)	平成27年2月5日(木)	東京
・欧文誌編集委員会(第1回)	平成26年5月29日(木)	東京
同 (第2回)	平成26年10月24日(金)	神戸
・和文誌編集委員会	平成26年12月25日(木)	東京
・研究助成委員会 (第1回)	平成26年4月18日(金)	東京
同 (第2回)	平成26年8月28日(木)	東京
OTSUKA Award 審査委員会	平成26年7月16日(水)	持回審議
AJINOMOTO Award 審査委員会	平成26年7月17日(木)	持回審議
CHUGAI Award 審査委員会	平成26年7月31日(木)	東京
MSD Award 審査委員会	平成26年8月6日(水)	持回審議
Bristol-Myers Award 審査委員会	平成26年8月4日(月)	持回審議

研究助成委員会(第3回)	平成27年3月26日(木)	東京
・生涯教育委員会(第1回)	平成26年8月27日(水)	東京
・肝臓専門医制度審議会(第1回)	平成26年4月4日(金)	東京
同 (第2回)	平成27年1月16日(金)	東京
肝臓専門医研修プログラム作成WG(第2回)	平成26年6月25日(水)	東京
同 (第3回)	平成26年11月28日(金)	東京
・肝臓専門医試験委員会(第1回)	平成26年8月1日(金)	東京
(第2回)	平成26年8月21日(木)	東京
(第3回)	平成26年10月3日(金)	東京
(第4回)	平成26年11月15日(土)	川崎
・市民公開講座企画検討委員会	平成26年9月11日(木)	東京
・社会保険委員会(第1回)	平成26年7月17日(木)	持回審議
・肝移植委員会	平成26年7月22日(火)	持回審議
脳死肝移植新適応評価基準作成WG(第1回)	平成26年9月22日(月)	東京
同 (第2回)	平成26年11月28日(金)	東京
同 (第3回)	平成27年2月6日(金)	東京
・男女共同参画委員会(第1回)	平成26年10月24日(金)	神戸
同 (第2回)	平成26年12月12日(金)	持回審議
・50周年記念誌編集委員会	平成26年7月31日(木)	東京
・肝炎診療GL作成委員会(第1回)	平成26年4月24日(木)	東京
同 (第2回)	平成26年8月8日(金)	犬山
同 (第3回)	平成27年3月2日(月)	東京
・NASH診断WG(第2回)	平成26年9月16日(火)	東京
(第3回)	平成27年2月12日(木)	東京
NASH診断WG病理医協議会(第1回)	平成26年10月23日(木)	神戸
同 (第2回)	平成26年12月13日(土)	東京
・肝癌診療GL評価委員会(第1回)	平成26年4月22日(火)	東京
同 (第2回)	平成26年9月29日(月)	東京
(5) 支部関係		
西部会世話人会	平成26年10月23日(木)	神戸
西部会評議員会	平成26年10月23日(木)	神戸
東部会世話人会	平成26年11月26日(水)	東京
東部会評議員会	平成26年11月27日(木)	東京

8. その他

(1) 日本医学会連合の設立と社員としての参画

平成26年4月1日付で一般社団法人日本医学会連合(高久史麿会長)が成立した。

「日本医学会連合の会員(社員)は、日本医学会分科会である」、「会員代表者とは、日本医学会の評議員に当たる」(平成26年5月21日、日本医学会連合第1回理事会)とされた。

当肝臓学会もこれに参画することとなり、平成 26 年 8 月 7 日に会費 625,100 円(50 円/会員, 11,502 名)を振り込んだ。

会員代表者は、日本医学会の評議員を金子周一副理事長としたことに伴い同副理事長が務めることとなった。

※ 日本医学会関係要員については、今期から次のとおり定めた。

評議員：理事長若しくは副理事長 ， 連絡委員：業務執行理事の中から選出

医学用語委員：理事の中から選出 ， 医学用語代委員：幹事を充てる

平成 26 年度（平成 26 年 6 月 26 日通知，任期：平成 27 年 5 月迄）

評議員：金子周一 副理事長(小池和彦 理事長が内科学会の評議員であるため)

連絡委員：橋本悦子 理事(滝川 一 業務執行理事が消化器病学会の連絡員であるため)

医学用語委員：持田 智 理事，

医学用語代委員：河田則文 幹事

(2) 平成 26 年 7 月 28 日 刑事訴訟法に基づく捜査関係事項照会書受領

薬物性肝障害に関する事項，滝川 一財務理事に対応を依頼し，8 月 1 日，回答した。

(3) 平成 26 年 10 月 29 日

所属機関における懲戒解雇処分に関連して高橋宏樹 評議員に「評議員の辞退勧告」を行った。なお、同 評議員からは、8 月 30 日付けで辞職願が提出されており、これを受諾することとした。

(4) 厚生労働省への協力

平成 26 年 11 月 4 日 指定難病の検討にかかる各疾病の情報収集の協力

○ 肝内胆管減少症

須磨崎 亮（筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系小児科）

○ 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症

杉浦 時雄（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

○ 先天性多発肝内胆管拡張症（カロリ（Caroli）病）

工藤豊一郎（国立成育医療研究センター肝臓内科）

○ 先天性肝線維症

関 寿人（関西医科大学附属滝井病院消化器・肝臓内科）

○ 門脈・肝動脈瘻

馬場 俊之（昭和大学横浜市北部病院消化器センター）

○ クリグラー・ナジャー（Crigler-Najjar）症候群

上裕 俊法（近畿大学医学部附属病院臨床検査医学）

○ ウィルソン（Wilson）病

原田 大（産業医科大学第 3 内科）

平成 27 年 2 月 5 日 第二次実施分指定難病に関する協力

○ 滝川 一 理事に依頼

- (5) 平成 26 年 8 月 5 日 一般社団法人日本総合健康医学会への回答
7 月 4 日, 一般社団法人日本総合健康医学会から執筆依頼
対象学会 高血圧学会, 糖尿病学会, 肥満学会, 動脈硬化学会, 肝臓学会
学会誌「総合健診」第 42 巻 2 号(平成 27 年 3 月発行予定)
テーマ「総合健診と予防医学的根拠」「肝機能, 肝障害について」
人間ドッグ学会の「新たな健診の基本検査の規準範囲」に対して, 専門学会としての規準
範囲, 策定のエビデンス, 基準値に関する外国との違いなどについて執筆を依頼された。
この件については, 8 月 5 日に岡上 武名誉会員を推薦した。
- (6) 平成 26 年 7 月 22 日 日本栄養療法協議会(仮称)への参加
第 3 回臨時理事会において, 日本病態栄養学会から提案された『日本栄養療法協議会(仮称)』
設立について参加を決定し, 滝川 康裕 評議員を担当者とした。
平成 27 年 1 月 11 日(日) 13:00~15:00 第 18 回日本病態栄養学会特別企画に滝川評議員出席
- (7) 他の学術団体の後援依頼を承認した。
○ APASL2016 会長: 横須賀 収
○ 第 6 回 APPLE Meeting 会長: 工藤 正俊
- (8) 会員向けの注意喚起文書「医薬品の適正使用について」を HP に掲載した。
- (9) 事務局の人事
箱守春樹事務局長の定年を 2 年間延長し, 労働基準法に基づき再雇用制度を導入した。
これに伴い, 『日本肝臓学会就業規則』を改正した。

以 上

事業報告の附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条
第 3 項に規定する附属明細書について、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。